

看護大学生がイメージする「すてきな妊婦」に関する研究

木下 照子*・神田 聖子

看護学

(2012年11月28日受理)

母性看護学実習において、妊婦を対象とする実習は外来で1日という限られた時間で行われ、妊婦に関わる機会が非常に少ないのが現状である。そこで、母性看護学の学習途上にある2年生に対して、「すてきな妊婦」のイメージにはどのような要素があるかを明らかにすることを目的とし調査した。学生が「すてきな妊婦さん」をどのようにイメージをしているか、自由記述によって絵や語句、または文章化したものをデータとした。結果、絵のみ7件、絵と語句による説明のもの33件であった。絵の特徴は妊婦自身がお腹を手で支えているものが18件あり、妊婦の髪は長く、ショートは3件であった。語句・文章での記述はカテゴリー化し【日常生活を整え、適切な環境作りや行動がとれる】、【幸福感や充実感がある】、【自分自身を大切に、健康維持に努めている】、【胎児へ関心がある】、【支援者がいる】、【夫(パートナー)と良い関係にある】、【家族との関係】の7カテゴリーが抽出された。

(キーワード)妊婦のイメージ、看護学生、母性看護学教育

はじめに

母性看護学において、妊婦が安心して妊娠を継続していくには、妊婦の理解と適切な保健指導が必要である。学生の妊婦理解を促す方法として、妊婦体験ジャケットを着用し、疑似妊婦体験学習を実施している。この演習からは、主に身体面の気づきは多いが、心理・社会面は少ない¹⁾。また、学生たちは笑顔で楽しく演習をしているが、妊婦の気持ちに近づくとよりも妊婦の体勢で、私は何ができるかという身体面に偏る傾向が見られた。

人はイメージによって行動を規定する²⁾といわれる。学生が、妊婦は胎児に話しかけ、手を腹部に当て撫でていくという妊婦のイメージをもつということは正にそのことであると言える。このようにイメージは人がその資質に応じて、自分で積極的に作るものである。イメージ画を書くという方法は、感性に基づいて表現されるのでより本音が現れやすい³⁾ということを活用すると、学生の描く妊婦に関するイメージは、より妊婦に近い状況であると考えられる。これは、本人がイメージした状況の中に入り体験し、対象としている妊婦の立場に自己を置くことができる⁴⁾。このようにイメージできることは、相手の立場に立つことができ看護実践において、とても重要なことである。したがって、学生がすてきだと思ふ妊婦像のイメージを把握し研究を勧めていくことは、今後の学習指導や実習指導の一資料として意義があると考えられる。そ

こで、母性看護学の学習途上にある学生が、「すてきな妊婦」のイメージにはどのような要素があるかを明らかにすることを目的とし調査した。

本研究は、学生の描く妊婦のイメージを対象理解に活用し、妊婦を身近に感じさせ、また学生と妊婦との関係を創りやすくする教授方法を模索するための研究として意義がある。

用語の定義

イメージ：本研究では、「心の中に或る姿として浮かぶもの」と定義する。

I 研究目的

母性看護学の学習途上にある学生の「すてきな妊婦」のイメージにはどのような要素があるかを明らかにすることを目的とした。

II 研究方法

1. 研究対象：看護系大学2年次生64名(男性6人を含む)
2. 研究方法：母性看護学学習途上にある学生に「すてきな妊婦さん」のイメージがどんなものか自由記述した記

*連絡先：木下照子 新見公立大学 看護学部 718-8585 新見市西方1263-2

録をデータとする。記述方法は学生がこのような妊婦さんが「すてきな妊婦」だとイメージするものを、絵・説明語句・文章など自由とした。

記述されたものを研究者間で分類し、語句や文章の検討を行った。

3. 研究時期

平成 23 年 10 月～12 月

4. 分析方法

描写した妊婦のみ、妊婦と夫（パートナー）、妊婦と夫と子ども（家族）を種類別に整理分類した。絵に添えられた説明語句や、文章で表現されたものは一節または一文を分析し 1 コードとした。すべてのコードを統合し、再度精読したうえで、類似した内容ごとにサブカテゴリーを抽出し、さらにカテゴリーを生成した。分析の妥当性を確保するために期間を置き、研究者間で検討を繰り返した。

III 倫理的配慮

本研究への参加は対象者（看護学生）の自由意志により決定され、同意しない場合においても成績への悪影響などいかなる不利益も被らないことを説明し、記録は無記名で実施した。得られた結果は学会や論文として発表されることがあるが、個人が特定されることはないことを口頭と文章で説明した。また書面にて研究への同意を確認した。説明後、研究への同意と参加を確認し、絵を公表して欲しくない場合は、その旨を同意書用紙に記入すること、それに従って絵は公表しないこととした。さらに絵を描きたくない学生には文章や言語表現でも良いことを追加した。

IV 結果

研究協力は 57 名（89%）から得られた。描写された絵のみのものは妊婦 4 件、妊婦と夫 2 件、妊婦と夫と子どもの 1 件であった。さらに絵に語句による説明があるものは、33 件でありその内、妊婦のみ 19 件、妊婦と夫 6 件、その他には胎児と妊婦、家族等であった。絵の特徴は、妊婦自身がお腹を手で支えているもの及び絵に語句があるもの 18 件であった。これらの妊婦全体の特徴は髪であり 37 件は長く、ショートは 3 件のみであった。



図1 妊婦のみのイメージ



図2 妊婦と夫（パートナー）との関係

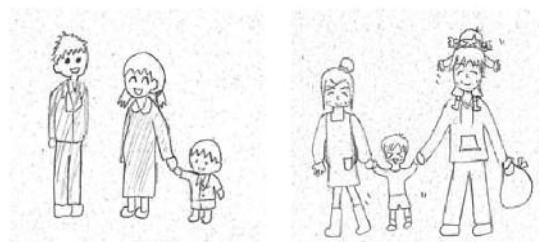


図3 妊婦と家族（夫・上の子との関係）

文章で表現されたものは一節または一文を分析し 1 コードとし、絵の説明語句を 1 コードとした、合わせて 211 コードから 37 のサブカテゴリーと 7 のカテゴリーが抽出された。カテゴリーは【日常生活を整え、適切な環境作りや行動がとれる】、【幸福感や充実感がある】、【自分の体を大切に、健康維持に努めている】、【胎児へ関心がある】、【支援者がいる】、【夫（パートナー）と良い関係を持っている】、【家族との関係】である。

【考察】

学生のすてきな妊婦のイメージは、嘗て母から教えられたもの、どこかで見たもの、聞いたもの、そして現在の学習を踏まえたものである。イメージを組み合わせて心の中に「或る姿」として浮かんでいる⁵⁾。このイメージには何かの意味があるからこそ作られるのである、その意味や思い、望み憧れなどが含まれていることが想像できる。

1. 描写された絵は表情も位置関係や振舞い方も様々でバリエーションが豊富であった。妊婦自身は笑顔であり、軟らかく、ややふっくらとソフトな感じがあり、妊娠の不安や恐怖は何えない。腹部は丸みを帯びて、妊婦自身が、お腹を手で支えているものが目立ち、母胎内の胎児保護と母になる喜びなど妊婦が児への関心を思わせるものである。また妊婦は女性の特徴でもある髪を長くしている、自分自身で処理できる自然のままを表現しているとも言える。しかし、ショートカットのヘアスタイルも見られ、ヘアセットしやすい髪型でもある。それぞれ学生のイメージしているものが伺える。

表1 学生がイメージするすてきな妊婦

サブカテゴリー	カテゴリー
外出の機会を作ることができ夫とともに外出する	日常生活を整え、適切な環境作りや行動がとれる
妊娠や分娩・子育てについて学習をする	
仕事をできるだけ継続する	
常にオシャレに気配りする	
児の成長や準備・仕事・健診などが適切にできる	
前向きに考え行動する	
その都度、生活の調整ができる	
出産にむけての環境づくり	
子どもが生まれたときの準備や環境づくり	
周井の人たちに喜ばれる	
周囲の助けをかりながら感謝して快適な生活をおくる	幸福感や充実感がある
女性としてしっかりしている	
命を大切に思う	
楽しみながら準備をしている	
生まれてくる子はみんなから祝福されている	
妊娠したことを幸せに思う	
経済的ゆとりがある	
お腹を見て微笑み、生まれてくることを楽しみにしている	
喫煙・飲酒・無理をしない	
自分の体を大切にす	
食事・休息・睡眠・運動が適切にとれる	
体調の管理ができる	
定期的に健診に行く	
妊婦の姿勢が良い	
児を大切に思う	胎児へ関心がある
お腹の子どもを愛おしいと思える	
子どものことを一番に考える	
出会う日を楽しみにしている	
児に向かってはなしかけている	
支えてくれる人がいる	支援者がいる
暖かく見守ってくれている	
相談できる人がいる	
協力してくれる人がいる	
夫婦が仲良しである	
夫の支えや協力がある	
家族みんなが仲良しである	家族との関係
家族の支えや協力がある	

2. 【日常生活を整え、適切な環境作りや行動がとれる】

このカテゴリーは9のサブカテゴリーから生成された。妊婦は妊娠や分娩・育児について学習しているものとイメージしている。これは妊婦に対しての要望であると共に、妊婦はいつも前向きに考え仕事や生活の調整ができていること。また出産や子どもが生まれたときの準備などの行動が取れるなど、理想的な妊婦像をイメージしたものである。

3. 【幸福感や充実感がある】

このカテゴリーは9のサブカテゴリーから生成された。妊婦自身が妊娠したことを幸せに捉え、妊婦を囲む全ての者が妊娠を喜び祝福していること。そして命を大切に思い、生まれてくることを楽しみにしている妊婦である。また女性として、妊婦としてもしっかりと自身の姿勢や行動が安定していることが必要である。

4. 【自分自身を大切にし、健康維持に努めている】

このカテゴリーは6のサブカテゴリーから生成された。自分の身体を大切に考え、食事・休息・睡眠・運動が適切にとれ体調管理ができる妊婦である。また喫煙・飲酒などを避け、必要以上に精神的・身体的に無理をすることも避けなければならない。これらのサブカテゴリーのコードから妊婦は健康管理が重要であることが示されて

いる。

5. 【胎児へ関心がある】

妊婦は誰でも胎児への関心を持ちながら、わが子に出会う日を待っている⁶⁾⁷⁾など、学生も、妊婦は胎児に関心を持っていることを表現している。母と胎児との関連について、腹部に手を添えている様子や妊婦から胎児に語りかけている記述も見られた。これは胎児に関心のある妊婦をイメージしたものであり、その母と子の関係は信頼関係にあり、他者にとってその行動はほほえましさを感じさせるものである。

6. 【支援者がいる】

妊婦を支え、見守り、協力し、また相談できる人がいることは必要なことである。支援者は常になくはならないものであり、支援者がいることは安心して妊婦でいられることであり、安心して分娩に向かうことができる。また妊婦は支援者の協力を得ることが必要であることを学生もイメージしている。

7. 【夫（パートナー）と良い関係にある】、【家族との関係】

夫との関係・家族との関係は、身近な支援者であり良好な関係が望ましい。絵による記述に夫（パートナー）がある場合、妊婦とともに笑顔である。妊婦にとって夫との関係は良い関係にあることが重要であると学生もイメージしていると言える。家族も同様に笑顔であり家族みんなが「幸せ（幸福）」であることを思わせる記述内容である。

以上のように母性看護学学習途上にある学生の持つすてきな妊婦さんのイメージは、学生自らの生活感覚や現在の学習状況から生まれ出たものと考えられる。妊婦がお腹を支える姿勢が命の大切さや、児への思いが表れている。また妊婦として自らの健康管理や、仕事を続けながらも生き生きとした妊婦が想像できるものである。さらに女性の魅力である、おしゃれに気を配り、大きなお腹を美しく見せることである。今後さらに母性看護学を学び、臨地実習において妊婦への理解を深め、目標をもって取り組めるよう支援し、学生のイメージしているすてきな妊婦さんの要素を立証していきたい。

学生がすてきな妊婦をイメージして母性看護において保健指導やケアに活用できることを期待したい。しかし「すてきな妊婦」の記述を指示したがゆえに、明るく健康的な妊婦や胎児をイメージすることのみを望む結果となった。母性看護学においてはこれらに限らず、妊婦の危険性を学習できる機会を与える必要がある。その訳は全ての妊婦や胎児が良好に経過するとは限らないこと、また妊婦が遺伝や先天的な障害に関する心配を持つことは当然である。このような状況においても妊婦の気持ちを支えながら対応できる能力を養わなければと考える。

文献

- 1) 榮玲子, 野口純子, 植村裕子他: 母性看護学における演習の学習効果—妊婦の看護における自由記述を分析して—. 母性衛生, 44(1), 93-97, 2003.
- 2) 藤岡喜愛: イメージと人間 精神人類学の視野. 日本放送出版協会, 東京, 62-68, 1974.
- 3) やまだようこ: 私をつつむ母なるもの—イメージ画にみる日本文化の心理—. 有斐閣, 東京, 1988.
- 4) 藤岡喜愛: イメージ その全体像を考える. 日本放送出版協会, 東京, 81-87, 1969.
- 5) 前掲4)70.
- 6) 高橋桂子, 交野好子: 妊婦の心理と胎児イメージに関する研究. 母性衛生, 53(2), 268-276, 2012.
- 7) 交野好子: 妊婦の胎児認知と想像. 母性衛生, 38(2), 288-296, 1997.
- 8) 梶原恭子, 富安俊子, 田中千絵他: 看護学生の妊婦に対するイメージの検討. 母性衛生, 47(4), 563-570, 2007.
- 9) 澤田優美: 女子大学生の母親イメージと育児観—高校生になるまでの母親の就労状況との関連—. 母性衛生, 53(2), 227-233, 2012.
- 10) 岩本珠美: 女子大学生の体型認識, イメージに関する検討. 日本未病システム学会雑誌, 18(2), 81-84, 2012.